



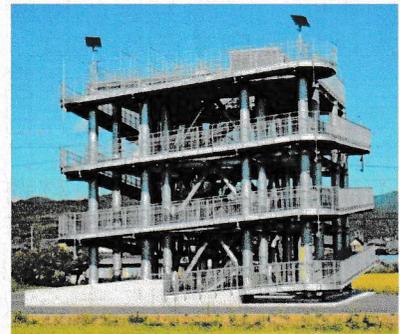
令和4年11月13日、本日は湖南工業団地南区の防災士としてご活躍中の、岸田憲一（きしだ けんいち）さんにお話を伺いたと思います。岸田さんは就職でここ湖南省に移り住まわれてから第二のふるさととしてすっかり溶け込まれ、その人柄のよさと実行力から、地元区ではなくてはならない存在として大活躍されています。また、当連絡会の指揮監督官の役割を担う『事務局長』としてご尽力いただいております。岸田さん、よろしくお願い致します。

Q. 自己紹介をお願いします。

湖南工業団地南の防災士の岸田憲一です。工業団地内の企業に勤務し、現在、品質管理の仕事をしております。出身は大阪府岸和田市で、大学卒業と同時に就職でこの滋賀へまいりまして、はや31年になります。家族は妻と大学3回生の長女の3人家族です。

Q. どうして防災士になろうと思われましたか？

地元の区長さんから依頼があり受けてみようと思いましたが、といいいますのも、10数年前に高知県の室戸市にあります工場の工場長に赴任しました時、高知県は南海地震が身近に迫る中、皆さん防災意識が非常に高く、引越した先で地元の駐在さんから一番、最初に言われた言葉が「地震が発生したらすぐに裏山へ駆けあがってください」だったからでした。南海地震が発生すると町全体が津波に襲われ、とにかく命を守る行動をとることが求められていると感じました。最近はいたるところに避難タワーが建てられております。それに比べて湖南省は災害に見舞われることが少なく、私自身を含めて防災意識が低いなあと感じていましたので、防災の勉強をしてみたいと思ったからでした。



津波避難タワー

Q. 防災士として得た知識・技能を今後、どのようにして活用していきたいですか？

防災士の資格を取得しても、これまで地域でなかなか活かす機会がなかったのですが、この度、水戸学区の自主防災会が発足しましたので、これからは地域の方々に少しでも防災意識を高めていただければと思います。

Q. ご自身で被災された経験がございましたら、お聞かせください

私自身はあまり被災した経験はありませんが、高知におりました時、毎年のように台風被害があり、一番ひどいときには、海沿いの国道に大きな岩が打

ち上げられ、道路が寸断されたり、従業員の自宅が高波で被災されたことがありました。

Q. 現在、所属区の防災士として取り組まれていることがありましたらご紹介ください

本年度発足した水戸学区自主防災会で事務局を担当しています。防災会としての活動はまだまだ手探り状態ですが、地域の防災意識を高め、万が一の災害に備え、活動していきたいと思ひます。

Q. 現在、湖南省防災士連絡会の事務局長として、立ち上げ当初から数年に亘りご活躍されていますが、これまでの経緯について及び今後の抱負をお聞かせ下さい

区長さんより、区の代表として防災士連絡会発足に向けた設立準備会に出席してほしいと頼まれ、打ち合わせを進める中でなぜか事務局長を引き受けることとなってしまいました。右も左もわからない私でしたが、危機管理防災課の方々、役員・幹事の方々に一つ一つ教えていただきながら、役を引受けた限りはなんとかしないとの思いで無我夢中で務めてまいりました。もっと経験豊かな方にさせていただいていたら、もっと良いものになっていたかもしれませんが、私自身としては、このような組織の設立から関わらせていただく機会はその経験できるものではありませんので大変勉強になりました。今ではこのような機会を与えていただけたことに感謝しております。この経験を今後は地域の中で活かして活動していきたいと思ひます。

Q. さらに水戸学区内の三区が一つになった防災組織の立ち上げ、運営に、こちら事務局長として関わられていると伺いましたが、これまでの経緯について及び今後の抱負をお聞かせ下さい

水戸学区の三区はこれまでそれぞれにふるさと防災チームを組織し、それぞれに活動されてきました。ただ、三区合同で活動するときの各区の役割や、まちづくり協議会と関係・役割分担などが不明確で、水戸学区全体として活動していくためには問題、課題がありました。そんなとき、湖南省防災士連絡会が組織され、私がたまたま事務局長をさせていただいたこともあって、自主防災組織発足の機運が高まり、私も設立に関わらせていただきました。水戸学区自主防災会は、まちづくり協議会の会長が会長を、3区の区長が副会長を務め、避難所運営班、避難誘導班、救急救護班、消火班、情報伝達班で組織しています。先日の防災避難訓練では、住民の皆さんにサイレンとともに自宅前に出てきていただいて安否確認をし、その後避難誘導班、情報伝達班の指示のもと避難訓練、避難場所では消防第三分団の協力のもと、救急救護班による救命救急訓練を行いました。今後ますますそれぞれ活動が活発に行っていくように、事務局として努力していきたいと思ひます。



水戸学区防災訓練の様子

Q. これから防災士を目指す方へ一言、お願いします

地域防災を活性化するために防災士はこれからますます重要な存在となると思ひます。より多くの方（特に若い方や女性の方）に防災士になっていただき、地域に貢献していただければと思ひます。湖南省防災士連絡会はこれからもそうした防災士の方々を支援してくれる存在として活動されることと思ひます。

本日はありがとうございました。